



第3号は特集号！

今年度最後のSmileでは、「持続可能な学校のあり方を探る実践モデル校」事業、部活動改革、家庭と学校の連絡システムについて、お知らせします。ぜひ、次年度の参考にしてください。

Topic

①

令和の時代における新しい学校教育のあり方を探る

令和5年度「持続可能な学校のあり方を探る実践モデル校」事業

「質の高い学び」と「持続可能な学校」の同時実現を目指し、市内23校のモデル校に日課を工夫するなどの取組を実践していただきました。モデル校間によるオンライン情報交換会、全市立学校を対象にしたモデル校と直接意見交換ができるオンライン情報交換会等を実施し、教育課程の「評価」・「改善」の具体的な実践例を共有・発信しました。

令和5年度 持続可能な学校のあり方を探る実践モデル校 (23校)

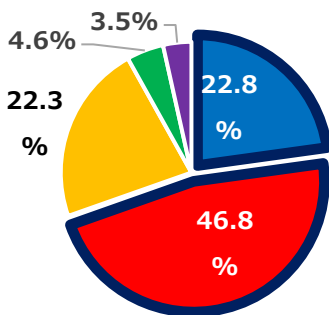
小学校 (21校)			中学校 (2校)
45分授業で4時間・5時間 授業の日を増やす モデル校 (6校)	1コマ40分午前5時間授業の モデル校 (9校)	1コマの授業時間を柔軟に変更する 等の工夫、その他の取組をする モデル校 (6校)	1コマ45分授業の モデル校 (2校)
青木小、今宿小、大岡小 幸ヶ谷小、二谷小、六浦小	あざみ野第二小、伊勢山小、川井小 川上北小、さわの里小、獅子ヶ谷小 つづきの丘小、奈良小、根岸小	荻田南小、釜利谷南小、菅田の丘小 高舟台小、茅ヶ崎東小、羽沢小	根岸中、深谷中

●モデル校の教職員向けアンケート結果より ※一部抜粋

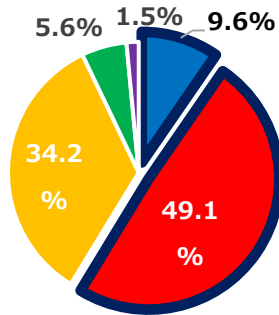
実践モデル校の全体
23校 回答数 395件

■ そう思う ■ ややそう思う ■ 以前と変わらない ■ やや思わない ■ 思わない

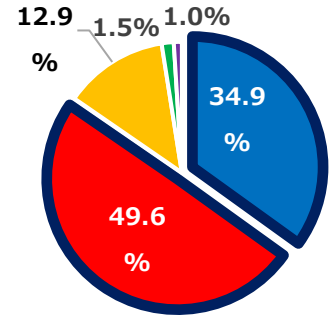
○ 裁量のある時間は増えましたか。



○ 児童生徒はいきいきと活動していますか。



○ ICT機器の活用が有効だと感じますか。



【児童生徒にとって】

- 放課後の時間が確保され、学校生活にゆとりが出ている。
- ICT機器の活用によって情報活用能力が向上した。 など

成果



【教職員にとって】

- 裁量ある時間が生まれ、教材研究の時間が確保できる。
- 職員間での打ち合わせや情報交換の機会が増えた。 など

【児童生徒にとって】

- 日課に慣れるまで、下校時間まで何かと慌ただしく感じる。
- 技能教科の活動時間や振り返りの時間の確保。 など

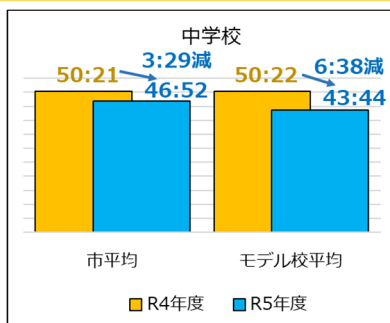
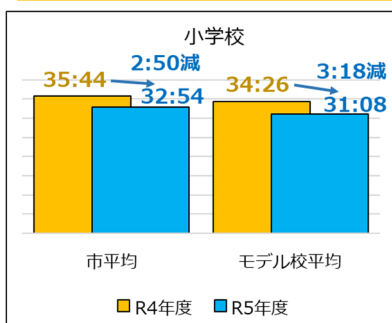
課題



【教職員にとって】

- 教職員のICTの効果的な活用やカリマネを含む意識改革。
- 会議や行事の見直し。 など

●モデル校の時間外在校等時間の変容 (4月~1月の平均比較)



教育課程編成

ICTの活用

教職員の働き方改革

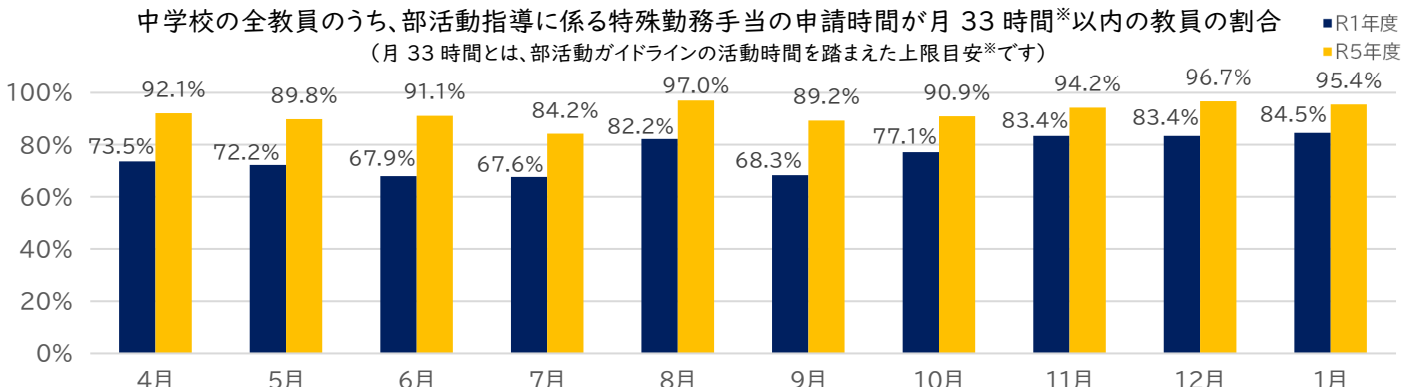
さまざまな要素をより一体的にとらえて考えていくことが大切です！



部活動ガイドラインで示されている横浜の目指す部活動の姿は、**生徒と先生にとって活動と休養のバランスがとれた部活動の実現**だよね！そのためには、**ガイドラインが定める活動時間と休養日を遵守**することが大切！部活動指導に係る特勤申請が月 33 時間*以内の教員の割合（平均）について、コロナ禍前の R 元年度と R5 年度の4月から1月を比較すると、**活動時間を遵守している教職員の割合は 16.1%の増**となり、コロナ禍が明けても、**ガイドラインで定める活動時間の遵守が進んでいる**のがわかるね。



中学校の全教員のうち、部活動指導に係る特殊勤務手当の申請時間が月 33 時間*以内の教員の割合
(月 33 時間とは、部活動ガイドラインの活動時間を踏まえた上限目安*です)



4月～1月までの特勤申請月 33 時間以内の教員の割合（平均） R 元年度:76.0% → **R5年度:92.1%**

*部活動ガイドラインで定める活動日数（平日4日、土日1日）、及び活動時間（平日2時間、土日3時間程度）の中で、想定される最大の上限としての目安。平日の活動時間2時間のうち、部活動指導は勤務時間（多くは17時00分勤務終了）にかかることが多いため、平日1時間×4日×4週+2時間（2日）=18時間、土日3時間×1日×5週=15時間。

生徒の活動の充実と教員の負担軽減の実現に向けた部活動指導員配置事業



全国最多の 952 人を任用・全校配置実現

	R 元年度	R4 年度	R6 年 3 月時点
任用者数*	147 人	645 人	952 人
配置校数	86 校	146 校	147 校
学校数	148 校	147 校	147 校
配置率	58.1%	96.6%	100%

※延べ人数

部活動指導員の配置による教員の負担軽減の取組では、「**原則、部活動指導員が単独指導・引率**」ができる体制づくりを行い、直ちに難しい場合は、まずは、**平日の活動においては、教員は職員室等で業務を行い、部活動指導員が単独指導**をするなど、効率的・効果的な活用をしてね。

効果的な活用事例については、昨年度の Smile NO.4 で紹介した部活動指導員との連携事例を参考にしてね。

試験運用校の実践より

こんなこともできます！ 家庭と学校の連絡システム

「教職員及び保護者の負担軽減と利便性向上」を目的に、システムの全校導入に向けて、**試行校だけでなく多くの学校で試験導入を進めていただいています。**



2 月末時点
 ・約 80%の学校が登録済
 ・登録者数は 167,687 人



これまでシステムを導入していなかった学校の先生方から

「システムを導入してから朝の電話が減り、とても助かっています。」



今回は試験運用校がどのような活用をしているのか、参考となる事例を紹介します。

西寺尾小学校 の実践

タイムライン

教育活動を効果的に発信



2 年生生活科「まちたんけん」 6 年家庭科「白玉だんごでほっこり回らん」



GIGA 端末の良さ、紙の良さ、それぞれを生かして学んでいます！

「タイムライン」を活用すれば、日々の教育活動をアプリ登録している保護者等に公開することが可能。

今まで

学校の HP で撮影した写真を校務用 PC にうつす必要

タイムラインでは

- ・GIGA 端末で作成・編集
- ・GIGA 端末で撮影した写真をそのまま活用・投稿可能
- ・アプリから簡単に閲覧できる

矢向中学校 の実践

アンケート機能

教職員の負担軽減

アンケートシート 【設問数：1 問】

アンケート説明	アンケートのご協力をお願いします。
回答後メッセージ	これでアンケートは完了です。ご協力ありがとうございました。
アンケート内容	<p>必須 Q1 土日の練習に参加することを承諾します。</p> <p><input type="radio"/> はい、同意します。</p> <p><input type="radio"/> いいえ、自宅にて休養します。</p>

部活動の土日練習の参加について、保護者からの承諾を得るために「アンケート機能」を活用。

紙の承諾書
印刷 配付
回収



アンケート機能にすると
 ・印刷、配付、回収の必要なし
 ・ペーパーレス
 ・即時、結果を閲覧